

現身に教化して證果の羅漢となし給ふ。母の御ためには、忉利天に昇り給て、摩耶經を説給て、父母を阿羅漢となしまいらせ給ぬ。此等をば爾前の經々の人々は孝養の二乗、孝養の佛とこそ思候へども、立還て見候へば、不孝の聲聞、不孝の佛也。目連尊者程の聖人が母を成佛の道に入れ給はず。釋迦佛程の大聖の父母を二乗の道に入れ奉りて、永不成佛の歎を深くなさせまいらせ給しをば、孝養とや申べき、不孝とや云べき。而に淨名居士、目連を毀て云、六師外道が弟子也等云云。佛自身を責て云、我則墮^{チナン}慳貪^ニ此事爲^{ヘサダメテ}不可等^{ナリ}云云。然ば目連は知ざれば科淺^{トガ}もやあるらん。佛は法華經を知しめしながら、生てをはする父に惜み、死してまします母に再び値奉りて説せ給はざりしかば、大慳貪の人をばこれより外に尋ぬべからず。つらく事の心を案ずるに、佛は二百五十戒をも破り、十重禁戒をも犯し給者也。佛法華經を説せ給はずば、十方の一切衆生を不孝に墮し給ふ大科まぬがれがたし。故に天台大師此事を宣て云、過則屬^{トガ}佛^{スニ}云云。有人云、是十方三世佛有^{ルナリ}違^シ背本誓^ニ欺誑^{スルコト}衆生^ヲ等云云。夫四十餘年の大小顯密の一切經竝に眞言・華嚴・三論・法相・俱舍・成實・律・淨土・禪宗等の佛菩薩・二乘・梵釋・日月及元祖等は、法華經に隨ふ事なくば何なる孝養をなすとも、我

①〔佛〕一節 ②而に＝然れば節 ③〔をば〕一節 ④律十(宗)節 ⑤〔及〕一節

則墮慳貪の科脱るべからず。故に佛本願に趣て法華經を説給き。而るに法華經の御座には父母ましまさざりしかば、親の生れてまします方便土と申國へ贈給て候なり。其御言に云、而於彼土、求佛智慧、得聞、是經等云云。此經文は智者ならん人々は心をとむべし。教主釋尊の父母の御ために説せ給て候經文也。此法門は唯天台大師と申せし人計こそ知てをはし候ひけれ。其外の諸宗の人々知ざる事也。日蓮が心中に第一と思ふ法門也。父母に御孝養の意あらん人々は法華經を贈り給べし。教主釋尊の父母の御孝養には法華經を贈給て候。日蓮が母存生してをせしに、仰せ候し事をもあまりにそむきまいらせて候しかば、今をくれまいらせて候があながちにくや(悔)しく覺へて候へば、一代聖教を檢へて母の孝養を仕らんと存候間、母の御訪申させ給人々をば我身の様に思ひまいらせ候へば、あまりにうれしく思ひまいらせ候間、あらくかきつけて申候也。定て過去聖靈も忽に六道の垢穢を離て靈山淨土へ御参り候らん。此法門を知識に値せ給て度々きかせ給べし。日本國に知る人すくなき法門にて候ぞ。くはしくは又々申べく候。恐々謹言。

十月二十一日

日 蓮 花 押

①るべからず=れかたかるべし ②ば今...ちに#17字=今に ③仕らん=いとなまばや ④へば=なり ⑤[あま...候也]28字一 ⑥難=脱